

第5回TRIZシンポジウム

(TRIZ Symposium 2009 in Japan)

-新たな創生期に向けて-

(2009年9月10日~9月12日、於：国立女性教育会館)

開会にあたって

2009年9月10日

NPO法人日本TRIZ協会

理事長 林 利弘

所在地：〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-7 秋葉原イーストビル4階

TEL：03-5809-2413 FAX：03-5809-2412

E-mail：info@triz-japan.org URL：<http://www.triz-japan.org/>

第5回TRIZシンポジウム開催の趣旨と狙い

TRIZとその関連分野での

発表・討論・交流の場を提供する。

- 1) 創造的な技術革新の技法「TRIZ」の普及・推進・適用の仕方を広く発表・討論する。
- 2) TRIZに関して、その技術レベルの向上と普及・推進・適用の仕方の向上に資する。
- 3) 日本と世界のTRIZ関係者の交流を図り、TRIZの理解と普及を促進する。
- 4) 今回の主題：**新たな創生期に向けて！**

TRIZシンポジウムの発展・経過

回次	主催	開催時期	開催場所	参加者	発表 件数
第1回	日本TRIZ 協議会	2005年 9月1日～3日	伊豆 ラフォーレ修善寺	104名	20
第2回	日本TRIZ 協議会	2006年 8月31日～ 9月2日	大阪府吹田市 パナヒルズ大阪	157名	34
第3回	日本TRIZ 協議会	2007年 8月30日～ 9月1日	新横浜 東芝研修センター	204名	34
第4回	日本TRIZ 協会	2008年 9月10日～ 12日	滋賀県守山市 ラフォーレ琵琶湖	180名	46
第5回	日本TRIZ 協会	2009年 9月10日～ 12日	埼玉県比企郡嵐山町 国立女性教育会館	132名	42

今回（第5回）シンポジウムの特徴

未曾有の経済環境下にも拘わらず、質・量ともに充実

- 1) 2件の基調講演。
そして、初心者及び経験者向けの2件のプレセッションの実施。
- 2) 発表件数は42件（基調講演2件含む）でほぼ前年並み。
- 3) 講演形式（パラレルセッション）とポスター形式の2つのタイプの発表形式採用による、広いそして深い交流の場の提供。
- 4) 海外からの発表も8カ国（マレーシア、イタリア、ドイツ、米、英、オーストラリア、韓国、台湾）14件（基調講演含む）となり、国際性も定着してきた。
- 5) 発表者層・適用範囲の拡大：大企業～中小企業～公共研究機関からの発表。産業界中心の発表から非産業界での適用事例の増加。
- 6) スライドの和英同時投影、討論の通訳、報告集の和・英2言語出版。
昨年に引き続いて、このための準備・運営（翻訳、通訳）に対しての、会員諸兄のボランティア協力の実現。

第5回TRIZシンポジウム招待講演

基調講演 1 :

Use of TRIZ for Prediction of the Future of Technological Systems

- Mr. Boris Zlotin -

(TRIZ Master, Ideation International Inc, USA)

基調講演 2 :

TRIZ : Necessary but Not Sufficient : Customers and Theories of Everything

- Mr. Darrell Mann -

(Systematic Innovation Ltd., UK) -

第1-5回TRIZシンポジウム発表者・参加者内訳推移

2009年8月28日現在

			2005 (1)	2006 (2)	2007 (3)	2008 (4)	2009 (5)
論文発表者	国内	大学/研究機関	1	6	3	4	↗ 5
		一般企業	9	10	10	10	→ 10
		個人/研究会ほか	2	2	6	10	↘ 6
		サービス提供者	5	5	5	8	→ 7
	海外	3	11	10	14	→ 14	
	計	20	34	34	46	→ 42	
チュートリアル他				2	2	↘ 2	
参加者 (講演者含む、 事前申込み ベース)	企業ユーザー (開発関係)		71	94	142	97	↘ 62
	教育・研究機関・コンサル		9	43	42	40	→ 50
	ツールベンダー		15	2	1	7	↘ 4
	その他 (知財、IT, 個人ほか)		9	8	10	23	↘ 16
	計		104	147	195	167	↘ 132
シンポジウム終了時点の参加者				157	204	179	

主催者：NPO法人日本TRIZ協会について

経過

- 2004年5月 : TRIZ懇話会発足
- 2005年1月 : 日本TRIZ協議会へ衣替え
- 2007年12月27日: NPO法人日本TRIZ協会正式発足

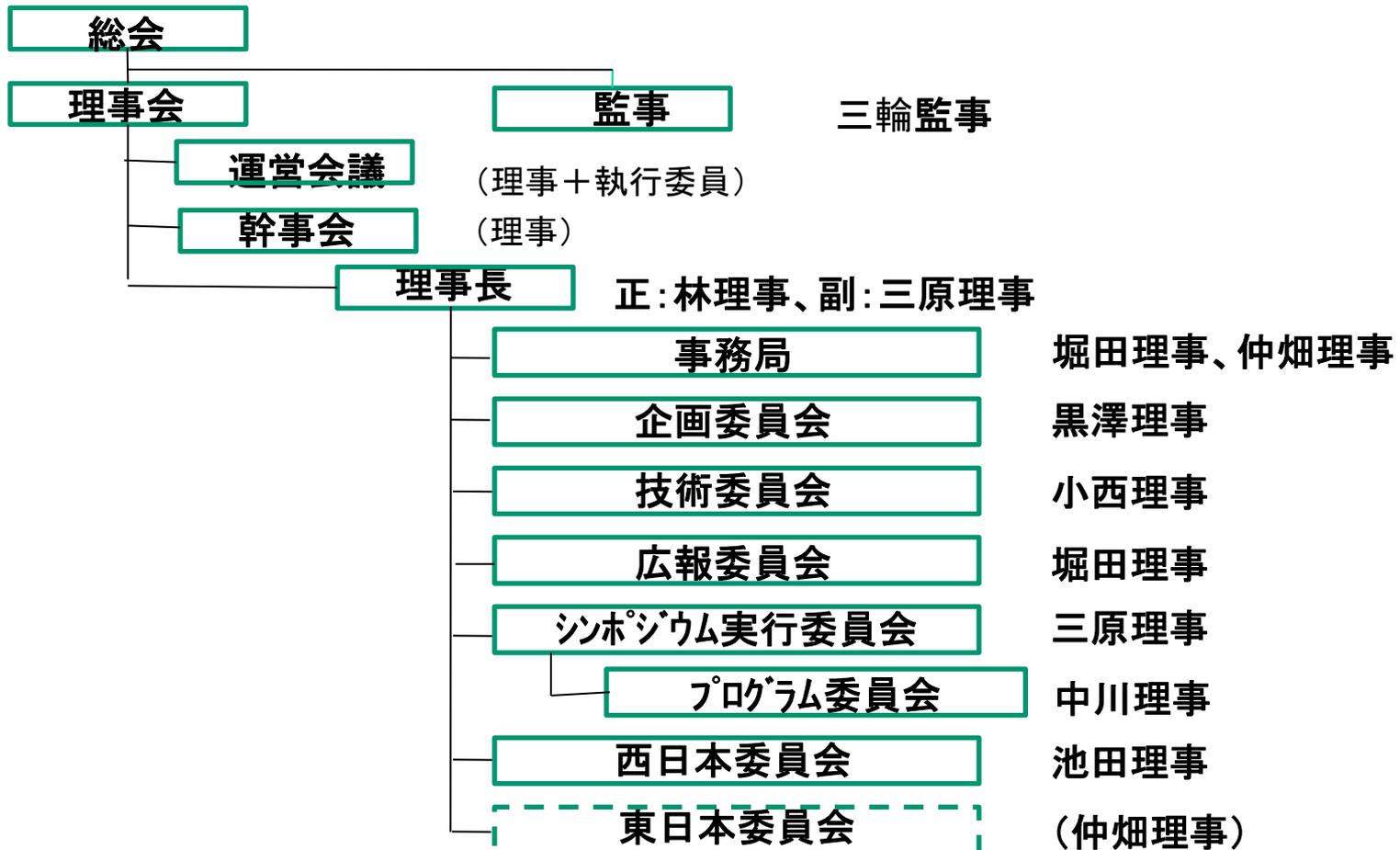
活動形態 : 会員ベースの公共的な
ボランティアベースの非営利法人活動

- 日本におけるTRIZ普及活動のセンターとして機能する。
- 我が国の技術開発力・国際競争力強化に資するため、活動をよりオープンで全国的なものにする。
- TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する。

NPO法人日本TRIZ協会の現況と運営組織

1. 会員数：正会員：128名（2007）、123名（2008）、120名（2009見込み）
賛助会員：1社（2007）、2社（2008）、1社（2009）

2. 運営組織：（2009年6月30日現在）



NPO法人日本TRIZ協会各委員会・事務局の分掌

- 企画委員会：協会事業の企画立案
- 技術委員会：技術面での協会としてのオーソライズ、研究会統括
- 広報委員会：対外、対会員広報（HP運営含む）
- シンポジウム実行委員会：シンポジウムの企画・運営
 - ◆ プログラム委員会：シンポジウムプログラムの発表公募とプログラム編成
- 西日本委員会：愛知県以西の活動推進
- 東日本委員会：静岡県以東の活動推進（当面休止）
- 事務局：各種協会事業の実施運営

NPO法人としての活動内容

(NPO法人日本TRIZ協会HPより)

1. TRIZシンポジウムの企画開催

- 国内中心で海外からの参加もよびかける。1回／年開催。

2. 研究会活動

- TRIZの適用方法、事例研究など、TRIZを様々な分野/場面で活用するための研究とガイダンスの構築を目指し、TRIZの普及・発展に供する。「日本TRIZ協会」会員は参加できる。

3. セミナーの企画開催

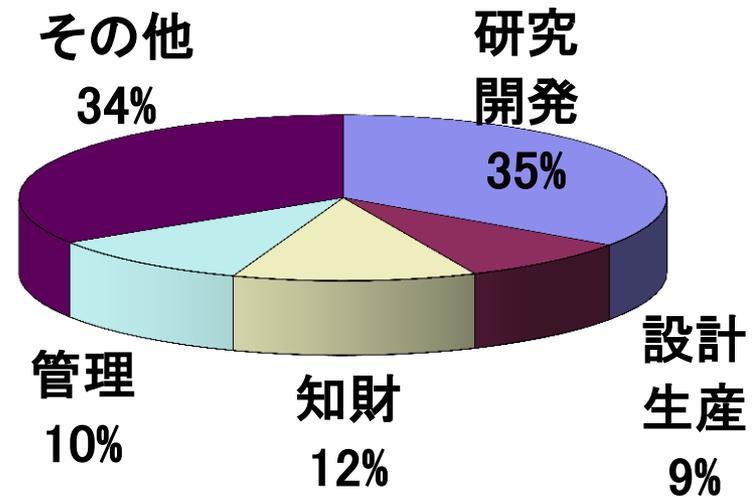
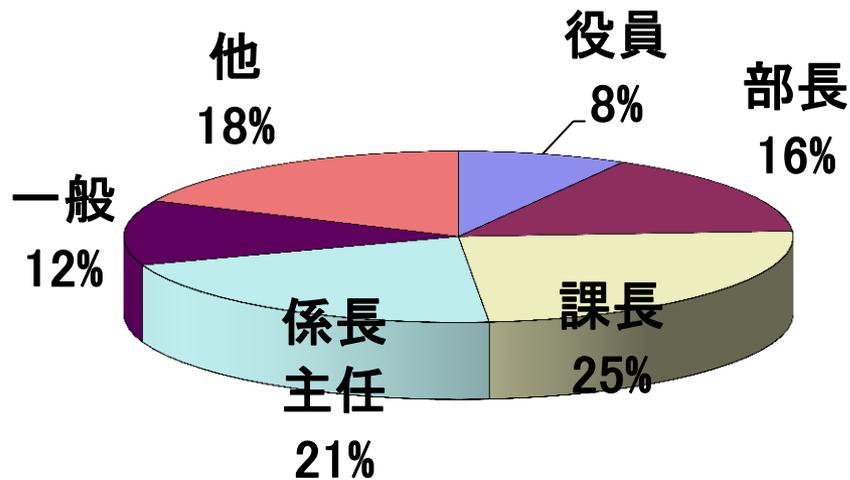
- 関係協力機関との共催または後援／協賛によるセミナー開催を行う。

4. 教育／出版用コンテンツの開発

- 教育・普及のためのコンテンツを開発し、書籍出版、eラーニング、講習会などで活用する。
- 既存文献（特に、英語の）、上記研究会の成果、関係協力機関のコンテンツ、などの活用を図る。

2008年（昨年）参加者アンケート 分析結果一部紹介 （詳細はHP参照下さい）

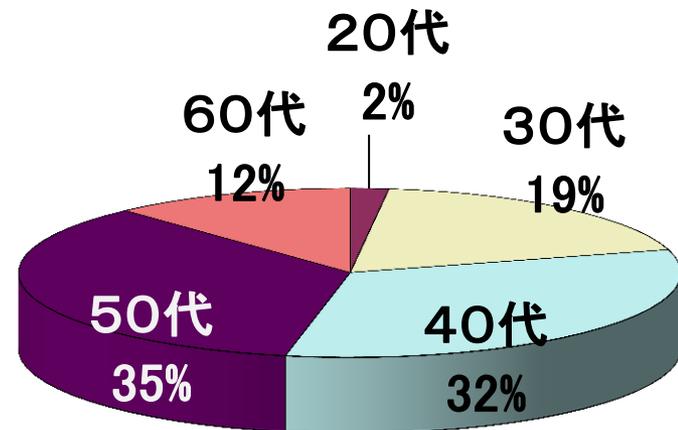
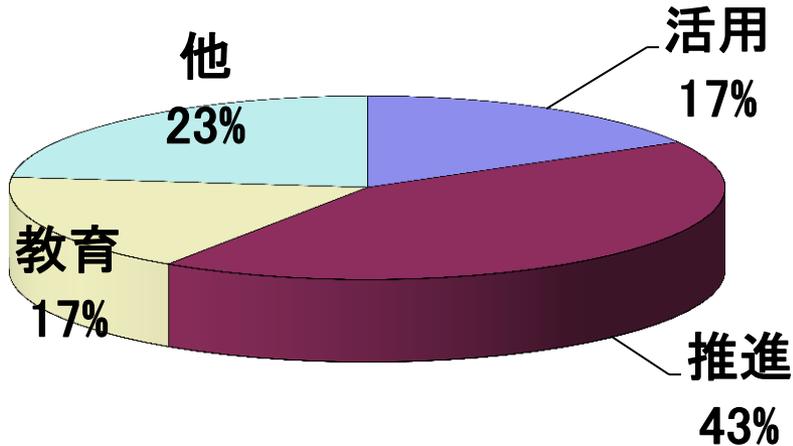
第4回TRIZシンポジウムアンケートより (参加者の立場)



あなたの組織での立場は？
→ 課長以上が半数

あなたの所属は？
→ 1 / 3がR&D部門

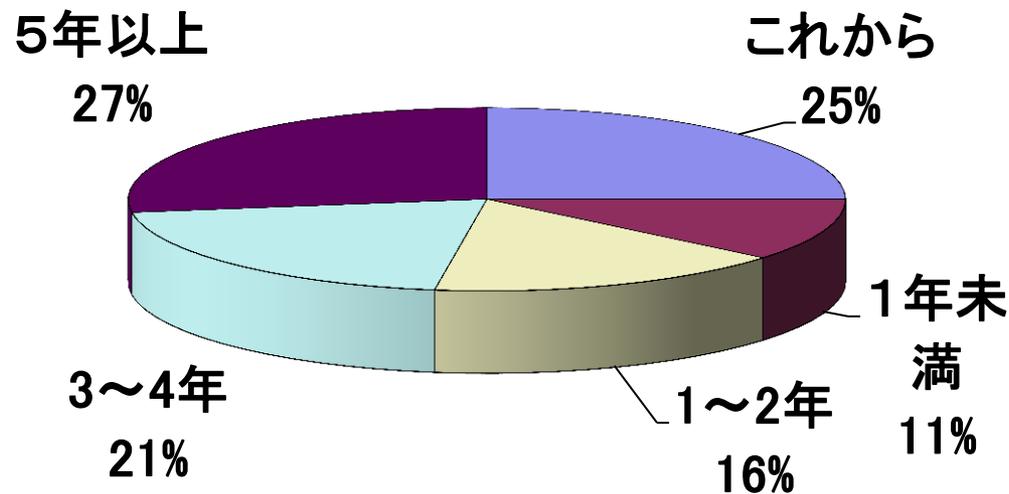
第4回TRIZシンポジウムアンケートより (参加者の立場、年齢分布)



あなたのTRIZへの関わり方は？
→推進・教育が60%

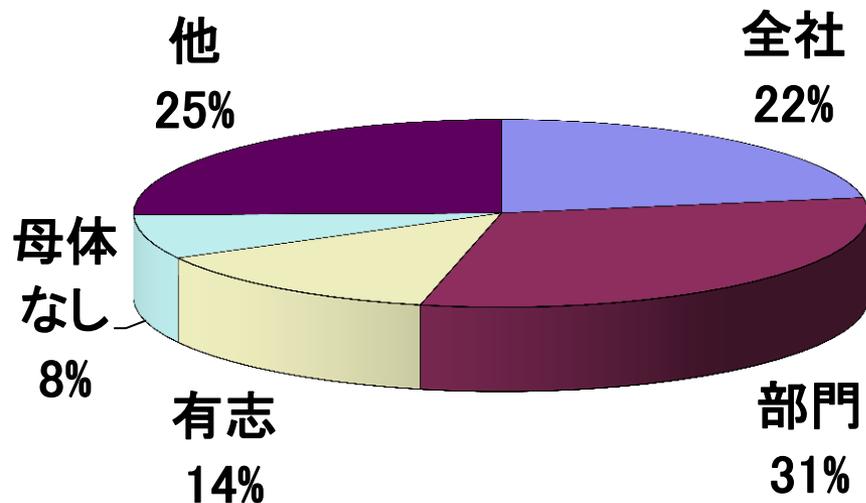
あなたの年代は？
→50代以上が半数

第4回TRIZシンポジウムアンケートより (TRIZ活用経験)



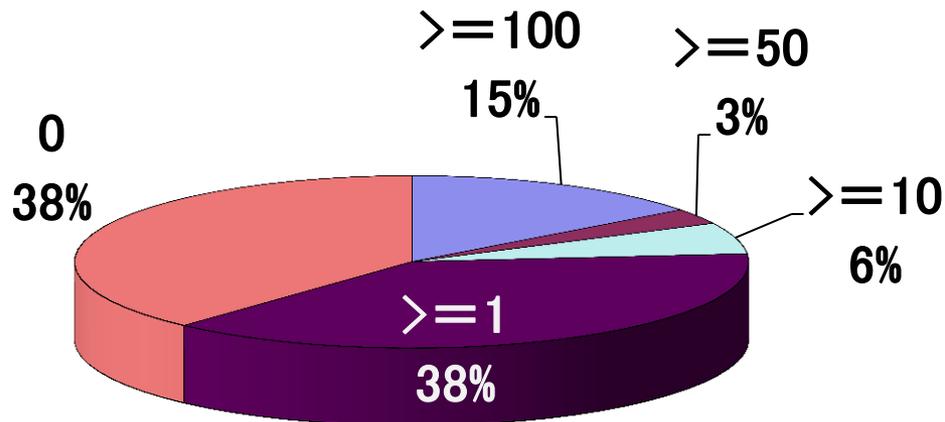
TRIZの活用経験は？
→2年以下が半数

第4回TRIZシンポジウムアンケートより (TRIZ推進体制)



TRIZの推進の体制は？
→全社レベルの推進は約20%

第4回TRIZシンポジウムアンケートより (TRIZの適用件数)



10件未満が75%

第5回シンポジウム準備組織および協力者(1)

全体統括 : 林 利弘

準備組織 (シンポジウム実行委員会)

実行委員会委員長 : 三原祐治

実行委員 (事務局) : 堀田 政利、清水 玲子(日本TRIZ協会)

プログラム委員長 : (正) 中川 徹、(副) 小西 慶久

プログラム委員 (兼ポスターセッション担当) : 池田 和康

プログラム委員 (兼海外担当) : 庄内 亨

プログラム委員 : 福嶋洋次郎

開催準備協力者 : 黒澤慎輔、仲畑光蔵、正木敏明、
菊池史子、片岡敏光、長谷川公彦、
海野誠、前古 護、井上 淳 (東芝)、
大田哲也

デザイン協力 : 後藤一雄 (リコー)

【敬称略、順不同】 【所属記載なしは日本TRIZ協会の運営会議メンバー】

第5回シンポジウム準備組織および協力者(2)

通訳・スライド翻訳協力者

通訳者：小西慶久、黒澤慎輔、
石濱正男 (神奈川工大)、
上村輝之 (ウィルフォート国際特許事務所)

和訳：小西慶久、黒澤慎輔、大田哲也、海野誠、
仲畑光造、菊池史子、正木敏明、中川徹、
岡 建樹、井上 淳 (東芝)、高原 利生 (個人)、
市川且典 (個人)、石田厚子 (日立コンサルティング)

英訳：中川徹、小西慶久、庄内亨、
有田節男 (日立)、津波古和司 (日立GST)

【敬称略、順不同】 【所属記載なしは日本TRIZ協会の運営会議メンバー】

ご清聴ありがとうございました

「日本TRIZ協会」未加入の方の加入と
会員の皆様の継続、
よろしくお願い致します